

研究課題名：	総胆管結石による胆管炎の内視鏡治療の実態調査
所属(診療科等)：	公立昭和病院 消化器内科
研究責任者(職名)：	細川 貴範 (医長)
研究期間：	2018年4月25日～2018年12月31日
研究目的と意義：	総胆管結石による胆管炎症例では、内視鏡によるドレナージをしたのちに、総胆管結石を採石する場合と、一期的に採石する場合がある。一期的に採石すれば入院期間の短縮が期待されるが、胆管炎を起こしている状態での採石処置が胆管炎を増悪させる懸念もあり、採石は施行医の判断となっており明確な基準は存在しない。総胆管結石による胆管炎症例で、どういった症例が一期的に治療してよいのかを明らかにする。
研究内容：	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる患者さん 2012年1月1日から2018年12月31日までに当院において内視鏡治療を行った患者さんを対象とする。 ●利用するカルテ情報 診断名、病歴、検査結果、診療についての記録等 ●研究方法 内視鏡治療を行った総胆管結石による胆管炎症例の胆嚢摘出術の有無、病歴、検査結果、予後等について後ろ向きに検討を行う。 ●利用する研究機関の範囲 公立昭和病院
問い合わせ先：	<p>【研究担当者】 氏名：細川貴範 (消化器内科医師) 住所：小平市花小金井8丁目1番1号 電話：042(461)0052(代表) FAX：042(464)7912</p> <p>【ご意見・相談窓口】(臨床研究・診療内容に関するものは除く) 総務課 042(461)0052 内線2247 受付時間：月～金 9:00～17:00(祝・祭日を除く)</p>